

# 認知症の薬の使い方とそのリスク

**岡山**

介護現場ではいま、画一的な処方と多剤併用によって  
深刻な<薬害>が起こっている！

**高松**

2017年  
日時：7月12日(水) 10:30～16:00

会場：オルガホール  
(4階会議室「スタディールーム」)

(岡山県岡山市北区奉還町1-7-7)  
☆JR「岡山」駅西口から、北へ徒歩7分

2017年  
日時：7月13日(木) 10:30～16:00

会場：高松テルサ (202号)

(香川県高松市屋島西町 2366-1)  
☆JR「高松」駅より7番・屋島大橋線バス  
「高松テルサ」下車すぐ

## < 認知症介護&医療の全てが分かる1日コース >

### 【講師】

ひがしだ つとむ  
**東田 勉**



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。  
2014年に刊行された『認知症の「真実」』（講談社現代新書）はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか？』（現代書林）、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』（SB新書）、近著に『親の介護をする前に読む本』（講談社現代新書）がある。

へ プ ロ グ ラ ム ▽	10:30 ~ 11:30	<b>認知症医療の最前線の動き</b> なぜ認知症はこんなに増えたのか／海外から批判されている日本の認知症対策／症状による4大認知症の見分け方／高齢になるほど増える合併と移行
	11:45 ~ 12:45 (昼食)	<b>抗認知症薬のメリットとデメリット</b> 中核症状とBPSDへの薬の使い分け／抗認知症薬の増量規定／いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用／認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか
	13:45 ~ 14:45	<b>高齢者への薬物療法の極意</b> 第一線の認知症医が導き出した結論／抗認知症薬が認知症を悪化させる／コウノメソッドの画期的な投与方法／リバスチグミンとシロスタゾール／意識障害とせん妄への対応
	15:00 ~ 16:00	<b>介護職は何ができるのか</b> デビルメソッドからお年寄りを救い出せ／声をあげ始めた医師たち／アルツハイマー病の真の問題とは何か／心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

\*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合はみ一週間以内にご連絡さし上げます。

**【受講料：6,000円】**

\*受講料は当日会場で承ります。

**主催**

**なるほどケア塾**

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榊円窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

**お申し込みはこちらへ Fax**

**Fax : 042-306-3772**

<参加人数>

<参加者名>

\*施設の場合は施設名もご記入ください。

<住所>〒

(自宅・職場)

<TEL>

<FAX>

7/12(水) 岡山 ( )名	7/13(木) 高松 ( )名
--------------------	--------------------